

投稿時のガイドライン（日本比較文化学会『比較文化研究』）

1. 書式について

- (1) 学会ウェブサイト「投稿規程」(https://hikakubunka.jp/?page_id=85) ページで、書式等をよくご確認ください。
- (2) 投稿規程の書式の指定の指示（第7条第iii～ix項目）に従いつつ、以下の書式見本に近い形となるように調整してください。
- (3) 引用表示、後注、参考文献リスト（レファレンス）の書式は、『比較文化研究』の過去の号に掲載された論文を参照するか、または、既存の書式システム（APA、MLA、Harvard Referencing、Chicago Manualなど）を踏襲（日本語論文の場合、日本語にあてはめる）するなどしてください。特定の書式を踏襲する場合、別種の書式を混在させず、同じスタイルで一貫してください。

なお、以下の書式見本は APA に準じていますが、投稿論文を APA に限るわけではありません。

- (4) 投稿原稿においては、次ページの書式見本に準じてください。ただし、印刷の仕上がりにおいては、フォント・タイプやフォント・サイズは、提出原稿に求められるものとは異なった状態で出力されます。最終的な体裁については、ゲラでご確認ください。

2. 査読結果通知から発行まで

- (1) 査読者から指摘を受けた場合、指摘に応じない箇所については、応じない理由を明示してください。
- (2) 査読コメントに応じて書き直す場合でも、規程の「10ページ前後」を著しく超過しないようご注意ください。目安として、1ページあたり全角44字×36行（英文の場合、半角80字×36行）に加え、図表グラフ等も含めて 12ページを上限とします。過度のページ超過の場合は、掲載不可となります。

・次ページの書式見本において、黄色ハイライト部分はテキストボックスの注記にかかる部分です。

・氏名および所属は、投稿時には記載しないでください。掲載決定後の原稿には記載してください。

3. ガイドラインの有効バージョンについて

ガイドラインは、加筆されてバージョンが更新されることがあります。投稿時には、その時点で学会ウェブサイトに掲載されているバージョンのガイドラインを参照してください。

書式見本

(1 ページ目)

『どん底』にみる黒澤明のロシア文学受容

姓 名は投稿時は記載しない

(大学名は投稿時は記載しない)

Akira Kurosawa's Reception of Russian Literature in *The Lower Depths*

First Name Surname 投稿時は記載しない

(Affiliation は投稿時は記載しない)

フォントタイプは本文は日本語は明朝体、英語はCentury。日本語タイトルはゴシック。

フォントサイズは、本文は10.5 ポイント、論文タイトルは 14 ポイント。

Abstract

This paper explores ~~~~~

はじめに

黒澤明は、複数の外国文学作品を映像化した翻案映画を製作した。その際、多くの外国映画を参照したと考えられ（新井 2020 pp.6-7）、黒澤作品の映像における他の映画からの影響の痕跡が、先行研究で分析されてきた。¹

1行ずつ行スペースを空ける箇所: ①タイトルと要旨の間、②章と章の間や本文と文献リストの間、③図表の前後。

文中の引用表示は、以下の①～③のいずれか。

① 新井（2020）によると「……は……である」（pp.6-7）。

② 「……は……である」と新井は述べている（2020, pp.6-7）。

③ 新井は、……は……である、と主張している（2020, pp.6-7）。
なお、ページ数の p. および pp. はなくてもよい。

¹ 例えば、○○は、黒澤のインタビューにおける発言から、また、John Ford の西部劇、*3 Bad Men* (1926) や *Stagecoach* (1939)、その他の作品との比較から、具体的に影響を受けた作品や、シーン、技法

後注・参考文献は、フォントサイズ9ポイント。

参考文献

山田太郎、木村花子、村田二郎 (2021). 『1960 年代の日本映画』 新風社

Yamada, T., Kimura, H., Murata, J. (2023). *Chinese Films of the 2000s*. Tokyo: Sanyosha.

山田太郎、木村花子、村田二郎 (2022). 「1990 年代の韓国映画」『アジア映画研究』2(1), 32-38.

Surname, Given name., & 2 人目 Surname, Given name. (Year). Title of article. *Title of journal*, vol(no), xxx-xxx. retrieved from <http://www.xxxxxxx> (accessed Year-Month-Day)

Surname, Given name., & 2 人目 Surname, Given name. (Year). Title of article. *Title of journal*, vol(no), xxx-xxx. doi: xx.xxxxxx (accessed Year-Month-Day)

著者名 (投稿・掲載の年月日). Web ページの題名. Web サイトの名称. <http://www.xxxxxxx>
(参照 年-月-日)

Surname, Given name. (Year, Month, Day). Title of Web page. Title of Web site. Retrieved from <http://www.xxxxxxx> (accessed Year-Month-Day)

上から (いざれも APA に則った場合)
書籍の場合
英語書籍の場合
雑誌の場合
英文雑誌の場合
電子雑誌の場合 (DOI なし)
電子雑誌の場合 (DOI あり)
ウェブページの場合
英文ウェブページの場合

(比較文化大学 夏目漱石)

掲載決定後に提出する原稿の巻末に、() 内に所属と氏名を記載する。所属は、大学名、あるいは大学院名、あるいは機関名。学部や部門は記載しない。なお、投稿時には記載しない。